

上尾合同教会 主日礼拝

2020年 5月 31日

- * ご家庭で、二人以上で礼拝をされる場合には、どなたか一人が司会者になって下さい。司会者以外の方は下記の太字の言葉をお読み下さり、司会者は太字でない言葉をお読み下さい。
- * ひとりで礼拝を為さる時は、すべてを通してお読み下さい。
- * 讃美歌は歌える環境であれば、讃美して下さい。そうでなければ心の中で歌いましょう。
- * 説教の時に、ホームページにある本日の説教録音をお聴き下さるか、『説教全文』をお読み下さい。インターネット環境がない方のために、当日昼に各週報欄に『説教全文』をお配りします。

《神のみ前に近づく》

序 詞 (ヴォータム)

わたしたちの助けは、天と地を造られた神からきます。

アーメン。

あいさつ

主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりが、あなたがたとともにありますように。

そして、また、あなたとともにありますように。

アーメン。

讃美歌 27-1節 (父・子・聖霊の)

共同の祈り (出席者全員で声を合わせます)

父なる神さま、このペンテコステの時、私たちに聖霊を豊かに注いでください。私たちの罪を清め、あなたへの信仰を燃え立たせてください。何より、聖霊によって私たちをひとつに結び合わせて下さいますように。

主よ、依然としてウィルスの脅威に晒(さら)され、恐怖が世界中を覆っています。その一方で、経済を理由に自粛を解除していこうという動きもあります。様々な情報と思惑(おもわく)に振り回されている状況を憐れみ、この世界を、愚かな私たちを導いてください。病との戦いにある方々、命を救うための働きに従事しておられる方々、孤独や生き苦しさを感じながらも自制を貫こうとしておられる方々を支え、守って下さいますように。

主よ、今、各家庭や個人で献げている礼拝を支えて下さい。このような形であっても、あなたを礼拝する私たちの思いをよしとして、この祈りと讃美を受け入れて下さい。何よりみ言葉を語り掛けて下さい。今、み前にぬかずく一人一人を祝福して下さいますように。妨げられることなく、共に礼拝を献げる時まで、遠くからでも互いに声を掛け合える仲間となっていくことができますように。いつか日曜日に再会できることを楽しみにして、与えられた場所で命と体を大切に生きて行けますように。

「主はわたしの光、わたしの救い

わたしは誰を恐れよう。主はわたしの命の岩

わたしは誰の前におののくことがあろう。

主よ、呼び求めるわたしの声を聞き

憐れんで、わたしに答えてください。

心よ、主はお前に言われる

『わたしの顔を尋ね求めよ』と。

主よ、わたしは御顔を尋ね求めます。」

(詩編 27:1、7~8)

*しばらく 黙禱の時 をもちます

主よ、上尾合同教会があなたの教会として、あなたに従って生きる群れとして、あなたに喜ばれる礼拝を献げられますように。主の御名によって、アーメン。

《神のみ言葉の宣教》

聖 書 (できれば朗読して下さい)

エゼキエル書 36章 26~28節 (旧p1356)

これは神の言葉です。

神に感謝します。

ヤコブの手紙 1章 16~18節 (新p421)

これはキリストの福音です。

主なるキリストを賛美します。

讃美歌 343-1, 2節 (聖霊よ、降りて)

説 教

『ペンテコステ礼拝—

新しい霊が私たちの中に』

*ここでインターネットにある説教録音を再生下さるか、『説教全文』をお読み下さい。

祝福の祈り

武田 真治 牧師

《神への応答》

讃美歌 346-1, 2節 (来たれ聖霊よ)

祈 禱 (ご自身で祈ります)

*集っておられる方が一人づつお祈り下さい。時間がない場合等、代表の方がお祈り下さい。

献 金

*各自用意した献金袋に入れ、後日お献げ下さい

主の祈り (声を出して祈りましょう!)

讃美歌 83-1節 (聖なるかな)

祝 禱

*説教録音の最後に「祝禱」を祈ります。

黙 禱 (心を静めて祈ります)